



2020年9月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月6日

上場会社名 富士製薬工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 4554 URL <http://www.fujipharma.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩井 孝之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 経営管理部長 (氏名) 上出 豊幸

TEL 03-3556-3344

四半期報告書提出予定日 2020年2月7日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年9月期第1四半期の連結業績(2019年10月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第1四半期	8,968	12.7	1,053	34.4	1,085	29.1	745	32.0
2019年9月期第1四半期	10,279	3.2	1,605	7.0	1,532	16.0	1,096	15.8

(注) 包括利益 2020年9月期第1四半期 1,196百万円 (7.5%) 2019年9月期第1四半期 1,112百万円 (20.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第1四半期	23.92	
2019年9月期第1四半期	36.63	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年9月期第1四半期	58,907	40,102	68.1
2019年9月期	60,737	39,363	64.8

(参考) 自己資本 2020年9月期第1四半期 40,099百万円 2019年9月期 39,361百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期		14.00		15.00	29.00
2020年9月期					
2020年9月期(予想)		14.00		15.00	29.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年9月期の連結業績予想(2019年10月1日～2020年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	16,647	9.9	1,209	51.0	1,174	53.1	781	53.9	25.09
通期	33,830	6.8	2,571	38.4	2,501	40.0	1,664	43.8	53.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年9月期1Q	31,253,800 株	2019年9月期	31,253,800 株
期末自己株式数	2020年9月期1Q	95,238 株	2019年9月期	101,726 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年9月期1Q	31,153,908 株	2019年9月期1Q	29,924,450 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。上記予想に関する事項については(添付資料)P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9
4. 補足情報	10
(1) 販売実績	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は比較的堅調な個人消費が持続する一方、世界経済の影響を受け企業業績は足踏み感が強く、不安定な海外の政治情勢や新型コロナウイルスが流行するなど先行き不透明な状況が続いております。

医療用医薬品業界におきましては、2019年10月の消費税増税に合わせた薬価改定に加え、2020年4月にも薬価改定が見込まれるうえ、新薬創出加算の適用品目を大幅削減、長期収載品の一部を後発医薬品と同一価格まで下げる厳しい薬価基準制度が決まるなど、その事業環境はますます厳しくなっております。また、2019年10月の薬価改定では、薬価ベースで業界平均2.4%の引き下げが行われ、当社製商品の薬価引き下げによる影響は5.5%となりました。

このような状況のもと、当社グループは2030年ビジョンとして「世界の女性のwell-beingに貢献している」、「薬の富山からGlobal Marketに進出している」、「世界一幸せな会社と社会貢献が一体化している」を新たに掲げ、2030年に向けた成長戦略にグループ全体で取り組んでおります。

そのなかで当社は、重点領域である産婦人科領域において、2016年に当社が初めて製造販売承認を取得した「生殖補助医療における黄体補充」を効能・効果とする天然型黄体ホルモン製剤「ウトロゲスタン腔用カプセル200mg」の販売に注力するとともに、ジェネリック医薬品の子宮内膜症治療剤「ジェノゲスト錠」、同じくジェネリック医薬品の緊急避妊剤「レボノルゲストレル錠」、新薬の月経困難症治療剤「ルナベル配合錠ULD」など主力製品を中心にシェア拡大を図っております。

放射線科領域においては、非イオン性尿路・血管造影剤「オイパロミン注」、非イオン性造影剤「イオパーク注」の更なるシェアの拡大に向け注力しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、8,968百万円（前年同期比12.7%減）となりました。利益面につきましては、当期は2019年10月の薬価改定の影響を受けたことや、新薬開発が予定通り進捗していることによる研究開発費の増加などにより営業利益は1,053百万円（同34.4%減）となり、経常利益は1,085百万円（同29.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は745百万円（同32.0%減）となりました。

なお、当社グループは、医薬品事業の単一セグメントであるため、セグメント情報は記載しておりません。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産額は58,907百万円となり、前連結会計年度末比1,829百万円の減少、純資産は40,102百万円と前連結会計年度末に比べ738百万円の増加となり、自己資本比率は68.1%となりました。

(資産)

資産の部においては、流動資産については、1年内返済予定の長期借入金の返済により現金及び預金が減少したこと等により1,811百万円の減少、固定資産については、時価評価により投資有価証券が増加した一方で、繰延税金資産が減少したことにより18百万円減少しております。

(負債)

負債の部においては、流動負債については、支払手形及び買掛金が増加した一方、1年以内返済予定の長期借入金や賞与引当金、未払法人税等の減少があったこと等により2,304百万円減少しております。固定負債については、長期借入金の1年内返済予定の長期借入金への振替等により264百万円減少しております。

(純資産)

純資産の部においては、その他有価証券の時価上昇によるその他有価証券評価差額金や利益剰余金の増加があったこと等により738百万円増加しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、研究開発費等の一部が第2四半期に実現することとなったため、利益が予想を上回る水準で推移しておりますが、半期ベースでは概ね計画とおりに推移する見込みであることから、現時点では2019年11月8日に公表いたしました連結業績予想は変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(追加情報)

(役員向け株式交付信託について)

当社は、中長期的な業績向上と企業価値増大への貢献意欲を高めることを目的として、当社の取締役(代表取締役会長および社外取締役を除きます。)及び執行役員(株式交付規程に定める受益者要件を満たす者)を対象とした業績連動型株式報酬制度「役員向け株式交付信託」を導入しております。当該信託契約に係る会計処理については、「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第30号 2015年3月26日)に準じて、総額法を適用しております。

- (1) 取引の概要

本制度は、当社が拠出する金銭を原資として設定した信託を通じて当社株式(当社普通株式。以下同じ)を取得し、取締役等に対して、当社取締役会が定める役員等株式交付規程に従って、その役位及び業績に応じて付与されるポイントに基づき、信託を通じて当社株式及び金銭を毎年交付する株式報酬制度であります。取締役会は、役員等株式交付規程に従い、毎年12月にポイント算定の基礎となる金額を決議し、それに応じた株式を、翌年11月に交付いたします。

- (2) 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付属費用の金額を除く)により純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前連結会計年度51百万円、33,369株、当第1四半期連結会計期間41百万円、26,881株であります。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,494	5,057
受取手形及び売掛金	12,944	14,845
商品及び製品	3,437	3,613
仕掛品	2,539	2,257
原材料及び貯蔵品	4,735	5,182
未収入金	43	147
その他	1,724	1,002
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	33,919	32,107
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,117	5,090
機械装置及び運搬具(純額)	1,646	1,697
土地	919	930
リース資産(純額)	2,318	2,227
建設仮勘定	1,484	1,539
その他(純額)	232	229
有形固定資産合計	11,718	11,714
無形固定資産		
のれん	1,494	1,463
その他	1,805	1,780
無形固定資産合計	3,300	3,244
投資その他の資産		
投資有価証券	7,342	7,753
長期前渡金	2,308	2,308
繰延税金資産	1,288	886
その他	858	892
投資その他の資産合計	11,798	11,841
固定資産合計	26,817	26,799
資産合計	60,737	58,907

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,813	5,799
1年内返済予定の長期借入金	2,840	840
リース債務	530	520
未払法人税等	492	74
賞与引当金	856	210
役員賞与引当金	7	0
返品調整引当金	22	34
その他	2,448	2,227
流動負債合計	12,012	9,708
固定負債		
長期借入金	5,530	5,320
リース債務	2,014	1,933
退職給付に係る負債	1,396	1,422
その他	418	420
固定負債合計	9,360	9,096
負債合計	21,373	18,804
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,799	3,799
資本剰余金	5,841	5,841
利益剰余金	29,243	29,520
自己株式	△78	△68
株主資本合計	38,804	39,092
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△340	△55
為替換算調整勘定	896	1,047
退職給付に係る調整累計額	△0	14
その他の包括利益累計額合計	556	1,007
非支配株主持分	2	2
純資産合計	39,363	40,102
負債純資産合計	60,737	58,907

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)
売上高	10,279	8,968
売上原価	5,779	4,901
売上総利益	4,500	4,067
販売費及び一般管理費	2,894	3,013
営業利益	1,605	1,053
営業外収益		
受取利息	0	0
為替差益	-	36
受取手数料	0	0
受取補償金	3	3
受取保険金	29	0
その他	5	2
営業外収益合計	39	44
営業外費用		
支払利息	8	10
売上割引	2	1
為替差損	100	-
その他	0	0
営業外費用合計	112	12
経常利益	1,532	1,085
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産売却損	0	-
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	1,532	1,086
法人税、住民税及び事業税	222	69
法人税等調整額	213	271
法人税等合計	436	340
四半期純利益	1,096	745
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,096	745

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	1,096	745
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	162	285
繰延ヘッジ損益	△14	-
為替換算調整勘定	△130	150
退職給付に係る調整額	△0	14
その他の包括利益合計	16	450
四半期包括利益	1,112	1,196
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,112	1,195
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループ(当社及び連結子会社)は、医薬品事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 販売実績

薬効	前第1四半期連結累計期間 自 2018年10月1日 至 2018年12月31日		当第1四半期連結累計期間 自 2019年10月1日 至 2019年12月31日		前年同期比 増減率 (%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
(製 品)					
診断用薬	3,922	38.2	2,506	27.9	△36.1
ホルモン剤	2,253	21.9	2,280	25.4	1.2
代謝性医薬品	430	4.2	403	4.5	△6.2
神経系及び感覚器用剤	26	0.3	310	3.5	1,075.0
組織細胞機能用医薬品	261	2.5	257	2.9	△1.7
抗生物質及び化学療法剤	218	2.1	207	2.3	△5.0
循環器官用薬	287	2.8	203	2.3	△29.3
その他	1,690	16.4	2,182	24.3	29.1
製品合計	9,090	88.4	8,352	93.1	△8.1
(商 品)					
ホルモン剤	782	7.6	382	4.3	△51.2
体外診断用医薬品	173	1.7	186	2.1	7.1
その他	232	2.3	47	0.5	△79.4
商品合計	1,188	11.6	616	6.9	△48.2
合 計	10,279	100.0	8,968	100.0	△12.7

(注) 1. 当社グループは、医薬品事業の単一セグメントであり、セグメント情報を記載していないため、薬効分類別販売実績を記載しております。

2. 金額は販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。

3. 百万円未満の端数は切り捨てて表示しております。